

平成 27 年度 環境技術実証事業 自然地域トイレし尿処理技術分野

第 4 回技術実証検討会 [ 議事要旨 ]

日 時	平成 28 年 1 月 19 日(火) 14:00 ~ 16:00	
場 所	青山生涯学習館 学習室 3 (東京都港区南青山 4-19-7)	
出 席 者	<p>検討員</p> <p>伊与 亨 北里大学医療衛生学部 講師</p> <p>河村 清史 元 埼玉大学大学院理工学研究科 教授</p> <p>木村 茂雄 神奈川工科大学機械工学科 教授</p> <p>桜井 敏郎 (公社)神奈川県生活水保全協会 理事</p> <p>穂苅 康治 槍ヶ岳観光(株) 代表取締役</p> <p>平野 潤 静岡県くらし・環境部環境局 自然保護課 課長</p> <p>環境省</p> <p>野村 環 自然環境局 自然環境整備担当参事官室 参事官補佐</p> <p>泉 光博 自然環境局 国立公園課 課長補佐</p> <p>栗林 重和 自然環境局 自然環境整備担当参事官室 施設専門官</p> <p>事務局</p> <p>特定非営利活動法人 山の E C H O (上幸雄、加藤篤、平澤恵介)</p> <p>試料採取・分析機関</p> <p>濱中 俊輔 (公財)日本環境整備教育センター 調査・研究グループ 調査研究第 2 チーム 研究員</p> <p>高橋 悟 (公財)日本環境整備教育センター 浄化槽システム国際協力センター兼 調査・研究グループ 調査研究第 2 チーム</p>	
申 請 者	<p>本多 美陽、吉田 満夫 (株式会社ハイテックス)</p> <p>三原 博之 (大成工業株式会社)</p>	
傍 聴 者	吉田 弘一 (株式会社エイブル総合研究所)	
議 事	<p>( 1 ) 実証試験結果の中間報告・確認 &lt; 非公開 &gt;</p> <p>( 2 ) 実証試験要領の見直し</p> <p>( 3 ) 自然地域トイレし尿処理技術セミナーの概要確認</p>	
配 布 資 料	<p>資料 1 第 3 回技術実証検討会 議事要旨(案) &lt; 非公開 &gt;</p> <p>資料 2 実証試験の実施状況</p> <p>資料 3 実証試験分析報告(途中経過)—(株)ハイテックス &lt; 非公開 &gt;</p> <p>資料 4 実証試験分析報告(途中経過)—大成工業(株) &lt; 非公開 &gt;</p> <p>資料 5 実証試験要領 第 1 2 版改訂案</p> <p>資料 6 自然地域トイレし尿処理技術セミナー実施概要(確定版)</p>	
公開/非公開	議事( 1 ) は非公開で行われた。	

## [議事要旨]

### 議事 1 実証試験結果の中間報告・確認 <非公開>

- 自然地域し尿処理技術の現地報告については、実証機関の山のECHOから報告した。

### 議事 2 実証試験要領の見直し

- 今回の変更は最低限に留め、次年度以降のISO-ETV対応時に全体を見直すことにする。  
(検討員)

### 議事 3 自然地域トイレし尿処理技術セミナーの概要確認

- セミナーと同時開催する「パネル展示会」について、今年度実証中の企業から展示可否の問い合わせが来ているが、実証済み企業以外の展示は可能か。(実証機関)  
*現在進行形の技術については、実証中を明示する形で展示すればよい。(検討員)*

### その他

- 現状、訪日外国人の数は2000万人達成の見込みであり、今後ともトイレ整備を進めていきたい。  
(環境省)
- 富士山ではどのように観光客を抑制しようかが議論となっている。(検討員)  
*富士山に登るのは神の山に登るという意識が必要。昔はトイレを担いで登っていた。*

以上